

桑名文化協

令和6年9月15日

第56号

桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
<https://bunkyo-kuwana.jp>

文化協会をより魅力的に



桑名市文化協会
会長 森 一蔵

皆様には、平素より文化協会の活動にご理解ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

今年1月、明けてすぐに能登半島地震があり、被災された方々は現在も大変な状況におかれております。

さて、5月12日に第32回の定期総会を桑名市パブリックセンターにて開催いたしました。令和5年度の事業報告、決算報告、令和6年度の事業計画、収支予算等について審議、可決承認され、今年度の事業の展開を進めております。

皆様もご存知の通り、近年は文化協会会員の高齢化が進み会員数も減少しており大きな課題となっております。新しい会員を呼び込み、文化協会を活性化させるためにはどうしたらよいでしょうか。私は文化協会が文化活動を行う人にとって魅力的な場、入ってみた



第32回定期総会(令和6年5月12日)

いなと思ってももらえる場であることがまず重要なことであると考えます。それは言い換えれば会員の皆様が居心地の良い文化協会であるということですので。部門の中で会員同士たくさん話していただき、情報や課題を交換して、よりよい雰囲気づくりにつながることを期待いたします。

ぜひ皆様、力を合わせて知恵を出しあい、未来に桑名の文化をつなげていきますようご協力をお願いいたします。皆様のますますのご活躍を祈念いたします。

第71回桑名市民展と ワークショップを振り返って

美術部門 彫創会

野口恵子

梅雨による天候不順の続く中、第71回市民展が開催されました。幸い雨の影響もなく昨年度を大きく上回る来場者をお迎えする事が出来、出品者及び会場関係者一同大変喜ばしく思っております。

各会場ではそれぞれの会場毎に工夫を凝らした展示になり楽しんで頂けたのではないのでしょうか。作品においては古き良きものを守りつつ又時代の流れに即した変化も取り入れながら多彩で斬新な作品も多く見られました。新しい風を取り入れる事により来場された方々に、より興味深く鑑賞して頂けたのなら幸いです。展示を通してより広い世代の方々の参加へと繋がっていく事が願いです。

造形としてのワークショップは初めての試みで、およそ半年かけての試作を経て子どもたちにも扱い易い粘土を使用した「生き物」造りでした。体験に訪れた小学生のほとんどが自由な発想で思い思いの「生き物」を楽しそうに制作している姿が本当に印象的で指導に付いた私たちもとても楽しかったです。

「来年もまた造形をしますか？」

◀わくわく造形ワークショップ
石粉粘土で生き物を作ってみよう!



という親子連れの方のお声掛けもあり、ワークショップを開催して本当に良かったと思っております。ワークショップを通して子どもにも教えられる事も多く、私たち大人もピュアな目で美術意識を持つ事を勉強しました。色々なものを見たり触れたりする機会が多くあれば、発想力、想像力、自主性が培われ将来美術界等の発展にも繋がっていくのではないのでしょうか。

子どもたちの可能性を信じて、今後もワークショップを開催していけたらと思います。



第33回 市民芸術文化祭へのおさそい

芸能の祭典

芸能I部門 民謡・三味線柳の会

泉水美湖柳

民謡は、庶民の暮らし、労働、心の叫びなどを、歌という形で表したものでした。今でいえば「SNS」のようなものでしょうか。私たちはその頃の景色や人々の思いなどに想像をめぐらせながら、民謡や三味線のお稽古をしています。「歌は世につれ 世は歌につれ」聴いてくださる方たちに親しみを持っていただければという思いで、時には民謡をロックのリズムにアレンジして聴いてもらっています。素朴で土臭い元々の民謡の魅力にはかないませんが、市民芸術文化祭「芸能の祭典」という素晴らしい発表の場を与えていただき、日々稽古に励んでおりますが、これもお客様あってのもの。一人でも多くの方に聴いていただくことが私たちの励みです。そして「ちよつと面白そう」と思ってくださいる方がいてくだされば、それが次の世代に繋がっていくかもしれません。

江戸時代、東海道五十三次で唯一の海路であった七里の渡し。その渡船場である桑名宿は、大勢の旅人を迎えて大いに賑わったと思われまふ。酒席ではさまざまな唄が旅人たちによって唄われてきたことでしょう。そんな芸が行き交う宿場町で、先人たちが繋げて来てくださった桑名の文化を次の世代にバトンタッチするお手伝いができたら、と思っております。なか目にする機会のない芸能にふれるチャンスでもあります。「芸能の祭典」にどうぞお気軽にお立ち寄りください。



演劇の祭典

演劇部門 劇団すがお

加藤武夫

この度11月2日と3日の2日間、光精工コミュニケーションプラザで長島一向一揆450年のイベントとして、地元の国府正昭氏の作品「水郷燃ゆく長島一向一揆の闘い」を上演いたします。公募の市民とともに舞台を作るというコンセプトの「桑名演劇塾第14回公演」でもあります。

この作品は2021年10月に劇団の60周年記念公演として準備しました。公募した出演者とともに稽古を重ね、正に上演を迎えるばかりでしたが、折からのコロナ禍の元で公演の延期を余儀なくされました。

20人からの劇団員が狭い稽古場で喧々囂々稽古をする訳で、感染を恐れて稽古の継続が難しくなりました。この延期を4回繰り返しました。この度劇団の100回目の公演にあたるという節目にどうしても上演しておきたいとの願いから実現しました。

今回も新聞等で出演者の公募をし、予定通り20名の出演者が集まりました。小学4年生から、高齢者では80歳までの方たちでした。

令和3年開催延期となったチラシより
タイトル部分



残念ながら前回の出演者のうち主役クラス数名が参加出来なくなりましたが、また代わって若い新しい参加者に応募いただきました。「みえ県民文化祭演劇の集い」「桑名市民芸術文化祭・演劇の祭典」の一環として、上演も間もなくです。

是非とも多くの皆さんの観劇をお待ちしています。

音楽のフルコース

音楽部門 個人会員

葛巻ゆかり

食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、皆様は秋をどのようにお過ごしでしょうか。

音楽部門では、11月24日(日)13時より柿安シティホール大ホールにて、「音楽のフルコース」と銘打ちまして、音楽部門会員による演奏会を行います。今年で33回目を迎えるこのイベントでは、オカリ



令和5年度 音楽のフルコースよりマンドリン演奏

ナ、ギター、ピアノ、ハーモニカ、マンドリン、吹奏楽など様々な楽器、グループが出演する予定です。
生演奏のコンサートは、まるで打ち上げ花火の様だと私は常々思います。出演者として、足をお運びくださる皆様を想い、聞き惚れ、よるこんでいただけれる様子をイメージし、お客様の心をゆさぶるにはどうするかを考え、一度き

華道展

茶華香道部門

MOA美術館 山月光輪花

小池真由美

りのその瞬間そのステージのために桑名のあちらこちらで、時間をかけてそれぞれの音を磨いております。
お客様も出演者も、誰しものが主役のまさに「音楽のフルコース」団体一同、皆様のお越しをお待ち申し上げます。

市民芸術文化祭の華道展が柿安シテイホール展示室にて開催されます。各流派が趣向をこらし、御来場の皆様にお花のもつやさしさ、華やかさなどをお伝えすべく、心をこめていけさせて頂きます。会場に一步、足を踏み入れただけで癒しの世界を味わって頂けるのではないのでしょうか。

いけばなは「生花」と書くように植物そのものを「生かす心」が今も受け継がれています。私たちは花と出会った時、花をいける時、その花を飾った時など、どの場面でもゆっくりと花を見て楽しみ、その花と対話し、花の良さを生かし、花の持つ力を信じることに心がけています。



令和5年度 華道展

日本の文化も自然から学び自然を生かし、共生する考え方に基づいて育まれてきました。美を楽しむことで、素直に美しいと感じられる自分の心に気づかされたり、又、人への思いやりの心が湧いてきたりする事などから、人間の心や行動が美しくなっていくのではないかと思います。

花を楽しむ場が自然と社会に広がり、老若男女、お子さんまで気軽に楽しんで、心豊かなライフスタイルが広がることを切に願っております。



第33回 桑名市民芸術文化祭 ポスター原画表彰式

今年度の文化祭ポスター原画には、小学生から80代まで14点の応募があり、油彩、水彩、写真、グラフィックアート等、多彩な力作が集まりました。

優秀賞には、桑名市在住の小学1年生 中嶋一葉さんが選ばれました。今回の応募の最年少です。作品の中の子どもたちの手にはカラフルなハマグリがたくさん。楽しさいっぱいの作品です。

佳作には、桑名市在住の中学2年生 柳下真咲妃さん。桑名の千羽鶴やハマグリ、市の花のハナミズキなどのモチーフを落ち着いた雰囲気を描きました。美術部の活動で取り組んでくださいました。

8月7日に関係者による表彰式を行いました。

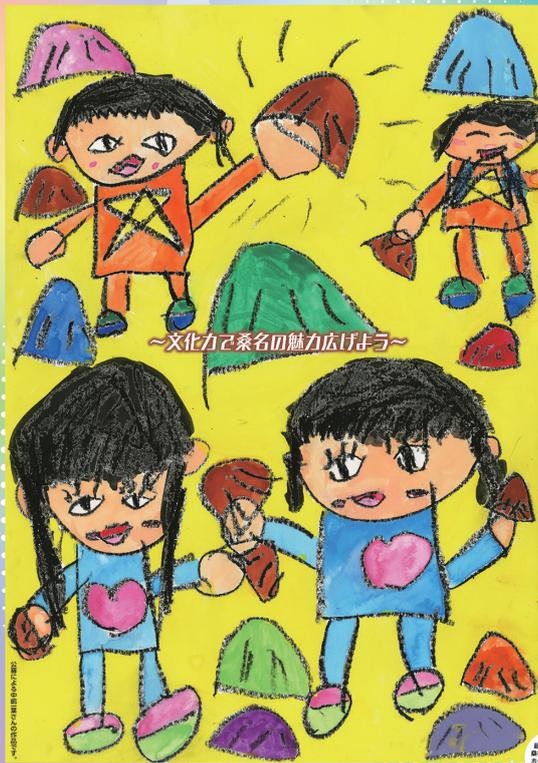


中嶋一葉さんと柳下真咲妃さんを囲んで
(前列左から2番目・3番目)

第33回 桑名市民芸術文化祭 ～プログラム～

市民芸術文化祭を開催します！
芸術・文化を身近に感じてる多彩なイベントです。

2024 10/19(土)・12/8(日) 2025 1/18(土)・19(日)



第33回 桑名市民芸術文化祭

会場／柿安シティホール(桑名市民会館)・くわなメディアライヴ
光精工コミュニティプラザ・六華苑
主催／桑名市・桑名市文化協会 (お問い合わせ) 桑名市文化協会事務局(桑名市観光課内) TEL.0594-24-1361
新春六華苑祭 [会場]六華苑 [日時]2025年1月18日土・19日日

趣味教養祭(水石展) 【入場無料】



10月19日(土)9時～17時
10月20日(日)9時～15時
場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

華道展 【入場無料】

10月26日(土)13時～16時
10月27日(日)9時～15時30分
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 展示室

演劇の祭典 【チケット購入必要】

「水郷燃ゆ～長島一向一揆の闘い～」
前売 一般 2,000円
小中学生 1,000円
11月2日(土) 18時～
11月3日(日・祝) 14時～ 詳細は劇団がおHP
(開場30分前) http://gekidan-sugao.org/
場所:光精工コミュニティプラザ 文化ホール



吟剣詩舞道の祭典 【入場無料】

11月3日(日・祝) 13時～16時(開場 12時30分)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 小ホール

お茶会 [六華苑入苑料必要]【呈茶券必要】 【呈茶券】

11月3日(日・祝) 10時～12時 前売 お茶二席 1,700円(入苑料込)
13時～15時30分 当日 お茶一席 700円(入苑料別)
(入場受付15時まで) 【入苑料】 一般460円/中学生150円
場所:六華苑 一の間:表千家流 離れ屋:遠州流茶道

芸能の祭典 (日本舞踊、箏曲、民謡、大正琴など)

11月 9日(土) 13時～16時(開場12時) 【入場無料】
11月10日(日) 10時～16時(開場9時30分)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール

美術部門展 2024 【入場無料】

11月22日(金) 12時～17時
11月23日(土) 9時～17時
11月24日(日) 9時～16時
場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

小倉百人一首 初心者から取り大会 【見学無料】



11月24日(日) 9時30分～12時30分 【参加費・申込必要】
場所:くわなメディアライヴ 2F 和室

音楽のフルコース 【入場無料】

11月24日(日) 13時～16時(開場12時30分)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール

趣味教養祭 (パッチワーク・きもの) 【入場無料】



11月30日(土) 9時～17時
12月 1日(日) 9時～15時
場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

社会文化部門展 ～本年の話題から～ 【入場無料】



11月30日(土) 9時30分～16時30分
12月 1日(日) 9時～16時00分
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 展示室

ダンスアートフェスティバル 【入場無料】

12月1日(日) 13時30分～16時30分(開場13時)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール

趣味教養祭 くわコレ'24 【入場無料】



12月7日(土) 13時～16時
12月8日(日) 9時～15時
場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

「桑名文協」第57号に文芸作品発表

2025年3月発行
場所:各まちづくり拠点施設、公共施設等にて配布

☆最新の情報は桑名市文化協会ホームページをご確認ください。
さい。https://bunkyo-kuwana.jp

参加型のコンテンツのあるイベントです。
様々な文化体験をお楽しみください。
(材料費別途必要な場合もあります。)



☆お問い合わせ

文化協会事務局(観光課内)(TEL24-1361 FAX24-1140)まで

●協賛事業

第48回桑名美術クラブ展 【入場無料】

10月17日(木)～10月20日(日)
9時～17時(初日12時～ 最終日15時30分まで)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 展示室
油彩、水彩作品を多数展示しますので、ぜひご覧ください

混声合唱団 【チケット購入必要】

シャンテ・クレール 第35回記念演奏会 チケット 1,000円

10月27日(日) 13時30分～16時(開場13時)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館)大ホール
混声合唱のハーモニーの美しさをお楽しみください

令和6年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

	申請者	事業名	開催期日	開催場所
1	桑名少年少女合唱団	第32回 おんがく会	R7.3.16	柿安シティホール 大ホール
2	桑名国際美術交流会	第17回 日韓友好親善美術展	R6.5.30～R6.6.2	柿安シティホール 展示室
3	書を愉しむ会	書道展「自在展」	R7.2月～R7.3月	くわなメディアライヴ 多目的ホール
4	琴伝流大正琴みさき会	第5回 大正琴みさき会 春の発表会	R6.4.27	柿安シティホール 小ホール
5	全日本写真連盟 はまぐり支部	全日本写真連盟 はまぐり支部 第25回写真展	R7.3.7～R7.3.9	柿安シティホール 展示室
6	青黄会	第37回青黄会絵画展	R6.9.5～R6.9.8	くわなメディアライヴ 多目的ホール
7	ぐるーぶ束	ぐるーぶ束 邦楽演奏会	R6.5.25	柿安シティホール 小ホール
8	藤間流 啓萃会	啓萃会 素おどりの会	R6.9.29	柿安シティホール 小ホール
9	装賀きもの学院 桑名校	ゆかたで楽しむ ゆかた着付け講習会	R6.7.21	柿安シティホール 展示室
10	オカリナはなみずき	バイオリンとフルートとオカリナのチャリティーコンサート	R6.8.18	くわなメディアライヴ 多目的ホール



自筆で文字を書く事

美術部門 書を愉しむ会

中村 柏芳

小学生の手習いで始めた「お習字」。墨をすり手本をまねる。墨の香る中、静かな時を過ごしました。今では、難しい文字や長い文章でも自分の力で書けるようになりました。

美しい文字を書くためには、まず書く事です。筆使いを学んでもらうため、私たちは必ず手本を書きまます。その手本を短い時間で良いので（長時間は不要）出来るだけ頻度を多く書く事です。最初から上手な人

はいません。集中して練習するからこそ上達するのです。

書作品の作成には、文字の知識が必要で、文字は伝達の手段です。自分勝手な表現になり過ぎない様、その中で自由な作品作りが出来る様、手伝っています。

コンピュータ社会。手書き文字の美しさ、おもしろさを身につけてもらうため、日々練習を行う、年に一度、作品展「自在展」を催しています。子どもから大人まで各個人それぞれが、違った課題に挑戦してもらう催しです。

日本文化の一つ「書」を愉しんで身につけてもらう手伝いをしていきます。「書」を愉しみませんか。

第5回 大正琴みさき会 春の発表会

芸能I部門

琴伝流大正琴みさき会

杉野 さおり

結成9年目を迎える「琴伝流大正琴みさき会」は、文化協会の育成補助金制度を利用し、柿安シティホールにて発表会を開催しました。みさき会にとってホール開催は初となり、計画の初期段階から挑戦したい事や表現したい事が次々と湧き上がっていました。

それらを実現するため、発表会の内容を舞台・展示・体験の部門に分



けることにしました。

舞台では、大正琴アンサンブルの魅力が会場全体を包み込み、出演者たちはキラキラと輝く衣装で非日常の空間を楽しみました。観客と出演者が一体となり、笑顔の花が咲く素晴らしいひとときでした。また、展示では、教材や衣装のほか、ホワイエに設置された大型モニターで活動内容を紹介する動画を上映し、体験では、大正琴を身近に感じていただけるよう、演奏体験ができるコーナーを設置しました。

結果、私たちが思い描いた以上に達成感のある発表会となりました。

この経験を生かし、大正琴音楽の普及発展に努めるとともに、地域の文化活動を盛り上げてまいります。

活動にスポット

「生涯芸術」の音楽活動を

音楽部門

なばなコミュニケーションサンプル

永井 聡

コロナ禍の2020年1月に発足したなばなコミュニケーションサンプルは、2024年6月までに6回の演奏会を開催し、地域の皆さんに親しんでいただける楽団として長島地区の施設を中心に活動しています。



楽器の演奏というとなにか難しそうで、経験のない方にはハードルの高いものという印象がありますが、音楽は生涯スポーツならぬ「生涯芸術」です。当団は子どもから大人まで老若男女が音楽で集い、つな

がることを目指した吹奏楽団です。団員は中学2年生から50代まで、学校や仕事の違う約40名の仲間とともに月3回の活動をしています。年に1回の演奏会の他、地域のイベントに呼んでいただいたり、他団体との合同演奏会を開催したりと様々なお客様にお楽しみいただいています。

また当団は部活動の地域移行化に伴い、長島中学校吹奏楽部との活動を始めております。桑名で育った演奏者たちが地域の後輩と共演する、まさに「生涯芸術」として活動をしています。

楽器経験のある方もない方も、興味をお持ちでしたらぜひ一緒に活動しませんか？まずは公式インスタグラムから当団の活動の様子をご覧ください！練習見学もいつでも募集中です！

箏の音色で「彩り豊かなときを

芸能I部門

生田流箏曲「音羽会」

麗明智翔

「音羽会」は、現在いなべ・桑名・四日市に計7教室あります。年長さんから80代の方までおり、多くが10代20代の学生さんたちです。そのため初めてお箏に触れる方がほとんどですが、吸収力や柔軟性は多彩、面白い発想でお箏と向き合っています。



小さなお子様たちは、練習曲をレッスンするだけでなく、「音当てクイズ」をしたり、新しいお箏の奏法を発見したり、お箏で遊ぶこともしています。学生さんたちには、課題曲をしつかり練習しながら「好きな曲をお箏で弾く！」ことも取り入れています。アイドルの曲やドラマ曲、K・popなどみんなの好みは様々ですが、先生がどんな曲でも箏用にアレンジし楽譜制作をします。曲について話し合うときも、とても盛り上がり楽しい時間です。

受験や就職、結婚、介護、病気など人生の転機も様々ありますが、日常で大変なことがあっても、お箏を弾いている時間は集中して忘れることができたり、音色に癒されたり「皆様の人生が彩りに豊かになる」ことが、当会の意義だと感じています。感情をたくさん揺さぶる時間を過ごしてきた方は、多彩な音色をだし演奏にも深みがあります。そして心豊かな時間となります。

演奏者も観客の皆様も彩り豊かな時間でありますように。そんな

“とき”をつくりだせるよう、また日々精進してまいります。

「見る、触れる、描く」で表現する

美術部門

エチュード

伊藤明淑

エチュードは2007年から活動を始めています。文化協会に入会したのは最近ですが、発表の場が広がってとても嬉しく思っています。表現を楽しめる場があることは私たちの暮らしを豊かにしてくれます。日常生活から少し離れて息抜きができる場が生まれま

す。エチュードは「見る、触れる、描く」の三つをコンセプトに表現します。

・見る 美術館やギャラリー、動画など色々見ることによって創作のアイデアや発想を得ます。

・触れる 色んな画材や素材(缶、空き箱、古着、ペットボトル等)で遊びながら想像をこえる斬新さや面白さに出会います。

・描く 手考(手を動かしながら考える)をもとに実際に色々試してみること、思い描く理想に繋げるにはまず手を動かすことです。

日頃は、アートとは何か紐解きながら皆が忌憚のない意見を交わし試行錯誤しています。それぞれの個性を大切にしながら楽しく進

めています。感じたものを発想に繋げる、を探っています。

毎年県内外で公募展や、エチュードの発表会を精力的に行っています。発表会や他の活動をする事によってエチュードのメンバーの喜びも勿論ですが、観る方々が絵や芸術を楽しみながらひらめきの花を咲かせる、思い出を作る、そんな場所になってほしいです。

今後の活動は、アートの携わる者として展覧会だけでは無く芸術とは縁遠い方々にも色んな形で寄り添うような芸術のあり方を模索していきたいと思っています。



次世代へ伝える

社会文化部門(個人会員)

小川雅生

桑名では昭和二十年の戦災により町並みのみならず石取祭に用いられる多くの祭車も焼失した。その失われた姿を長年追いつけてきたが、この調査・研究もいよいよ時間切れが近づいてきたようだ。

戦前から祭車の装飾や職人について興味を持つ人はごく一部に過ぎず、その記録となると皆無に近い。僅かに残る資料をかき集め、古写真や古い絵葉書などと纏めたものを昨年の文化祭で発表し、多くの方の興味を集めた。

今年には滋賀県の彫刻師宅に残されていた下絵や文書を中心に纏めた資料を、桑名市博物館で展示する機会を得た。解説もさせていたが、時間の都合上基本的な話を省いたところ、もともと初歩の解説から聞かせて欲しいとの希望が多く出た。予想以上に興味ある方が多いと感じたが、専門用語なども多いため、やはり時間をかけて伝えていかねばならないだろう。

今後は興味を持っていただけるような話題を取り入れた活動を通して、祭車装飾の文化・芸術面そして地元を中心とした職人たちのすばらしさを一人でも多くの方に知ってもらい、次の世代へ繋げて

いくことが課題である。



▲職人町戦災焼失祭車

部門便り 文学部門

新しい自分を見つける旅

桑名市文化協会 副会長

安田治三

紫式部や清少納言に憧れますが誰でも紙と鉛筆で始められます。「文学」と改めて

構えなくていいと思います。

人は毎日生まれてからずっと様々な世界と関り生きています。

ある時は大自然

ある時は沢山の人々の中で心は反応して楽しい事

辛い事、などを

いつも感じて生きています。

その感じた事を自分の言葉で

文字に表してみませんか。一緒に共感したり



桑名文協バック
ナンバーはこちら→



理解してもらったりすると喜びは何倍にも膨らみ悲しみは小さくなつて勇気が湧いて頑張る事ができると思います。難しい話ではありません。自分の心の扉を開け外へ出てみませんか、きつと新しい世界に出会えるでしょう。世界中のたった一人でも共感できる人が居るとしたら冒険は素晴らしい旅になると思います。人生はたった一度だけ新しい自分を見つける旅に出ましょう。短歌・俳句・川柳詩・エッセイ・小説・童話などジャンルは自由です。ここ「桑名文協」にも発表の場があります。まずはご連絡ください。大航海の港でお待ちしています。

桑名地名あれこれ(31)

多度町香取

社会文化部門
(個人会員)

大河内 浩



旧多度町町政30周年記念誌より、多度山上遊園地からの眺望写真中ほどが香取集落とその向こう長島町北部あたりに真目賀島か。

平成16年12月に広域合併で多度町・長島町と合併して現在の桑名市となり20年を迎えました。多度北地区に相当する旧七取村香取は名前のとおり香取神宮に由来します。下総国(千葉県)から大和国牧村(現在の奈良県春日大社)へ向かう経津主神が、神護景雲元年(七七七)当地を通過したことによると、勢陽五鈴遺響や桑名郡賦の古書にも見えます。

シリーズ(24)古代桑名郡五郷では熊口郷に位置しますが、平安時代後期から鎌倉時代には五郷は崩れ「香取荘」が出現します。隣村の益田荘との間で二五〇年にわたり領地争いが続き、今島は現在もありませんが、真目賀島は不明です。中須輪中から、対岸長島町北部の松之木や坂手あたりでしょうか。

香取荘はその後、益田荘へ吸収され、明治初年に桑名藩士の江間政発が著した桑名郡志にも「香取庄古書二其名ヲ存スレドモ益田庄ニ時代詳ナラズ」とあります。

明治22年の近代市町村制の際には七郷輪中だけでは一村独立に弱く行政配慮で香取を加えた七取村ができました。揖斐川に臨む香取港は北勢・南濃地方の物資集散地として栄え、下流の桑名港との便もあり、江戸時代から四・九の市が開かれて商業的な繁栄がもたらされました。大正時代に桑名市街から赤須賀を経て香取が現在の石取祭車を購入したときも、船で運ばれたということです。



桑名市指定無形民俗文化財、内母神社の石取祭に曳き出される香取の石取祭車、香取は鹿・賀鳥とも書かれ、天幕提灯雅名には「花鳥」とあります。

ご賛助いただいたいております
特別会員の皆様
9月1日現在
(五十音順)

- アートスペース美園様
- 医療法人 桑名病院様
- 医療法人 誠会山崎病院様
- 魚重楼様
- お菓子処「和」様
- カネソウ株式会社様
- 株式会社 朝日鑄工所様
- 株式会社 歌行燈様
- 株式会社 グランビル様
- 株式会社 山水園様
- 株式会社 水谷精機工作所様
- 株式会社 レイ・ステージ桑名様
- 木村洋子様
- Green Beatrice様
- 桑名シティホテル様
- 桑名三重信用金庫様
- 在日本大韓民国国民団三重県桑名支部様
- 茶道裏千家 丹羽宗俊様
- 中央不動産株式会社様
- 花新江場中店様
- 花乃江乃舎様
- 光精工株式会社様
- ヒルカワ金属株式会社様
- 三重精機株式会社様
- 森田フードシステム株式会社様
- 諸戸コーポレーション株式会社様
- 有限会社 大発商様
- 有限会社 茶商様
- 有限会社 丁子屋様

日頃よりご協力いただき、深くお礼申し上げます。

編集後記

「桑名文協」第56号は、芸術文化の秋に向けて「市民芸術文化祭へのおさそい」や各部門の「トピックス」等、盛りだくさんの内容となっております。

文協56号を一人でも多くの方々に手に取っていただき、各部門の日頃の成果発表の場をみんなで盛りあげましょう。

さて、世界に国内に目を向けていきますと、戦争や災害などいろいろな出来事が日々起こっています。

私たちが文化や芸術に触れ、楽しみ、活動ができるのは何げない穏やかな日常生活があつてこそ、とつくづく感じさせられる今日この頃です。

「今」という「時」を大切に一步一步進んで行きましょう！

(大嶋 敬子)

- 広報担当副会長 安田 治三
- 広報担当副会長 岡本 早苗
- 委員 文学部門 竹村 一雄
- 委員 美術部門 土屋栄美子
- 委員 音楽部門 水谷 直美
- 委員 芸能I部門 杉野さおり
- 委員 芸能II部門 村田 道昭
- 委員 芸能III部門 堀田佳世子
- 演劇部門 相原 千景
- 茶華香道部門 大嶋 敬子
- 社会文化部門 大河内 浩
- 趣味教養部門 加藤 誠